

1. よりよい関係

③ 気をつかうんです 人間関係

《ねらい》

○思春期の子どもたちの友だち関係について親同士で情報交換をし、この時期の子どもたちの人間関係の見守り方や支援の仕方などについて考える。

《準備物》

- 主催者（学校等）：ワークシート
- 参加者：筆記用具

| | 時間 (60分) | 主な活動 | 発言 | 留意点 |
|-----|-------------|--|--|--|
| 導入 | 10 | 1. 学習のねらい | | |
| | | <p>思春期の子どもたちの人間関係について、ある場面を想定しながら理解していきます。思春期の子どもたちの特性について親同士で情報交換しながら、親としての子どもとの距離のとり方や接し方について話し合います。その前に、心と体を少しリラックスさせましょう。</p> | | |
| | | 2. アイスブレイク ・仲間探し | アイスブレイク編 P10 参照 | |
| | | 3. ルールとマナーの確認 | | |
| 展開 | 10 | 4. エピソードを読んで感想を話し合う。 (ワーク1) | 4. エピソードの感想や体験談などを発表しましょう。 | |
| | 15 | 5. リサの気持ちになって考える。 | 5. リサはどんな態度や声をかけて欲しいのでしょうか。リサの気持ちになって考えてみましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・意見が出にくいときには本人、友だち、親の立場になって考えてみる。 ・子どもの立場（リサ・友だち）で考えることでこの時期の悩みに共感する。 |
| | 15 | 6. 子どもが困っているときの親の対応について話し合う。 (ワーク2) | 6. 子どもが悩んでいると気づいたとき、親はどうすればいいでしょう。経験などがあれば交えて話し合ってみましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードの解決策を見つけるのではなく、親の悩みや迷いを共有する。 |
| まとめ | 5 | 7. ふりかえり | | |
| | 5 | 8. まとめ | | |
| | | <p>この時期の子どもたちは、親からの心理的な自立が始まり、同年代の友人との関係が重要になってくる時期です。その関係づくりに一番敏感な時期ともいえます。ときには親に依存しながら、親だからこそ反発しながら自立へ向かっていきます。対応に正解はありませんが、誰もが通ってきた思春期の子どもたちの成長を支える親の気持ちを共有していただければと考えます。</p> | | |

気をつかうんです 人間関係

子どもたちの生活に実際に起こりそうな場面を想定しながら、思春期の子どもたちの人間関係について考えていきます。思春期の子どもたちの特性について親同士で情報交換しながら、親としての子どもとの距離のとり方や接し方について話し合います。



ワーク1

エピソード

リサ、友達、母（父）、ナレーションを分担して読んでみましょう。

リサには、仲のよい友だちが数人います。学校の休み時間や弁当の時間はいつもいっしょです。
ある日のこと

リサ 「ねえ、今度ショッピングモールに〇〇が来るんだって。みんな行かない？」

友達 「いいねえ。行ってみたい。」

リサ 「じゃあ、決まり。みんな9時に正面玄関に集合ね。前で見ると遅れないでよ。」

しかし、当日、リサはうっかり寝過ごしてしまったのです。もうとっくに時間は過ぎています。

言い出したのは自分なのに……。結局リサは行きませんでした。次の日、学校へ行くとみんなの様子が変です。

リサ 「昨日はごめんね、家の用事が……」

とっさに言い訳をしようとしたのですが、言い終わらないうちに、みんなはさっと教室を出て行ってしまいました。この日からみんなが口を利いてくれません。お弁当も一人で食べる毎日です。

お弁当も残っていて、元気のないリサを家族が心配しています。

母（父）：「最近何かあったの？」

① このエピソードを読んで感想を話し合みましょう。

② リサはあなたにどんな声をかけて欲しいでしょうか。リサの気持ちになって考えてみましょう。

ワーク2

子どもが困っているときの親の対応について話し合みましょう。



《今日を振り返って》